

第2回「すくすく稜南会」基本的な生活習慣アンケート結果と考察（稜南中）

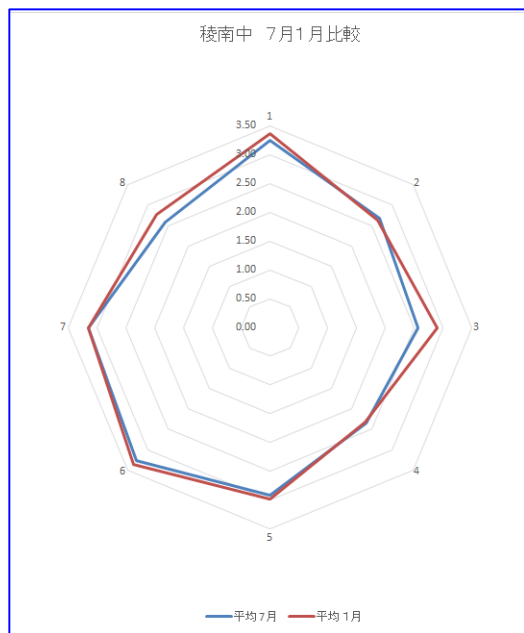
1 アンケート項目と7月、1月の平均

※評価は4段階評価，全家庭を対象に実施

(よくできた：4 だいたいできた：3 あまりできなかった：2 できなかった：1)

	集計項目	平均		
		7月	1月	伸び
①	相手や時間、場所に応じたあいさつができた。	3.24	3.36	0.12
②	携帯電話、スマートフォン、タブレット、インターネットは夜10時から朝6時は使用しなかった。	2.69	2.63	-0.06
③	家族の一員として家族のために仕事を決めて、実践した。	2.57	2.90	0.32
④	毎月第1月曜日のノーマディアデーには、家族で読書や会話を楽しんだ。	2.34	2.33	-0.01
⑤	家庭学習(宿題や自学)をがんばった。(1, 2年生:最低1.5時間以上 3年生:最低2時間)	2.91	2.98	0.07
⑥	バランスのよい食生活を心がけた。	3.27	3.36	0.09
⑦	十分な睡眠と適度な運動をおこなった。	3.16	3.16	0.00
⑧	将来の夢や希望について、家族と話し合っている。	2.58	2.78	0.20

2 7月、1月のアンケート結果のレーダーチャート



3 評価3以上の伸び

項目	評価3以上の割合		
	7月	1月	伸び
1	93.2	93.8	0.6
2	57.0	55.0	-2.1
3	51.5	60.0	8.5
4	40.8	41.7	0.9
5	66.9	69.7	2.7
6	89.9	90.5	0.6
7	78.1	79.7	1.6
8	53.1	65.6	12.4

4 アンケート結果の考察

(平均の伸びからの考察)

- 1「相手や時間、場所に応じたあいさつができた。」、6「バランスのよい食生活を心がけた。」、7「十分な睡眠と適度な運動をおこなった。」の項目は当初より良好である。
- 3「家族の一員として家族のために仕事を決めて、実践した。」、8「将来の夢や希望について、家族と話し合っている」の項目は数値が向上した。
3の項目の結果から年末年始は家族の一員としての自覚がわき、手伝いを率先して行ったと考えられる。
8の項目の結果から、キャリア教育の実践(高校説明会、職業講話など)の成果があらわれたと考えられる。
- △ 2「携帯電話、スマートフォン、タブレット、インターネットは夜10時から朝6時は使用しない」、4「毎月第1月曜日のノーメディアデーには、家族で読書や会話を楽しんだ」の項目は、改善が見られなかった。
2の項目の結果から、情報端末の扱いについては、各家庭でのルールが決まっていないことが考えられる。
4の項目の結果から、中学校においては、帰宅時間が遅いことや学習量の多さから、家族での時間が十分とれていないことが考えられる。

(評価3以上の割合の伸びからの考察)

- 3「家族の一員として家族のために仕事を決めて、実践した。」、8「将来の夢や希望について、家族と話し合っている」の項目は、改善がはかられた。

(まとめ)

大きく伸びている項目もあれば、微増している項目もある。
8項目のうち、平均の伸びは5項目、評価3以上の割合の伸びは7項目とこれまでの取組の成果が見られる。
しかし、2「携帯電話、スマートフォン、タブレット、インターネットは夜10時から朝6時は使用しない」の項目については、伸びが見られなかった。特に問題となっているSNS関係については、幼・保、小、中で連携して取組を行っていく必要があると考える。
今後はホームページや学級通信等を活用し、家庭へ啓発をしていく予定である。